

答え

歴史人物ドリル



27 ペリー

p.55 黒船 浦賀 下田 函館
日米和親条約 ①アメリカ合衆国 ②浦賀
③日米和親条約 ④日米修好通商条約

p.56 ①(1)アアメリカ イ1852 ウ大西洋
工琉球 オ浦賀 カ7

- (2)黒船(蒸気船)
- (3)開国
- (4)日米和親条約

考え方 アメリカ(合衆国)はこのころ、中国との貿易船や捕鯨船の燃料や水を補給する中継港がほしいと考えていました。アメリカの大統領は日本に開国を求め、東インド艦隊司令長官のペリーを派遣しました。ペリーは2度めの来航のとき、江戸湾深く進入し、開国をせまりました。幕府は、日米和親条約を結び、下田と函館の2港を開港し、続いて、ロシア・イギリス・オランダとも同じような条約を結びました。ここに鎖国体制はついに終わり、日本は開国したのです。ペリーの来航は幕末の日本をゆるがす大事件でした。
(1)工琉球王国は現在の沖縄県です。
(2)船を黒くぬっていたので、黒船と呼ばれました。

28 坂本龍馬

p.57 坂本龍馬 土佐藩 海援隊
薩長同盟 ①土佐藩 ②薩長同盟
③薩摩藩…西郷隆盛 長州藩…木戸孝允

p.58 ①(1)(例)外国を打ち払おうという考え。
(2)勝海舟
(3)(例)開国が正しいという考え。
(4)薩摩藩 長州藩(順不同)
(5)天皇中心の政権 議会をつくる
憲法を定める(順不同)
(6)海援隊

考え方 坂本龍馬は勝海舟に会い、開国の考えをもつようになりました。龍馬は薩摩と長州の両藩が手を結ぶと、政治を変える大きな力になると思い、薩摩藩の西郷隆盛や長州藩の木戸孝允たちに働きかけました。薩長同盟の成立後、幕府の力は弱くなりました。龍馬は「船中八策」にあるような、近代国家をめざしていましたが、新しい政府ができる直前に暗殺されました。

新興出版社 × ちびむすドリル Special コラボ

ドリルの王様

楽しく取り組めるから長続きする！
各種検定試験、また学習指導要領にも対応！



ドリルの王様

or 教科書ぴったりにトレーニング

検索

ドリルの王様
公式サイトは
こちら



予習復習に便利な
教科書ぴったりに
トレーニング
公式サイトはこちら



答え

歴史人物ドリル



29 徳川慶喜

p.59 徳川慶喜 大政奉還 戊辰戦争

- ①大政奉還 ②江戸幕府 ③戊辰戦争

p.60 ①(1)15

- (2)大政奉還
(3)二条城
(4)徳川慶喜
(5)1867(年)
(6)260(年)

考え方 江戸幕府の15代将軍となった徳川慶喜は、幕府を立て直すための努力を続けました。薩摩藩や長州藩の倒幕運動に対して、政権を朝廷に返す大政奉還を行い、将軍の座を握りました。慶喜は朝廷を中心にしながら徳川氏が政治を動かしていこうと思っていました。しかし、薩摩・長州藩は、朝廷を動かして、天皇の政治にもどすことを宣言し、慶喜に官職や領地を返上するよう命じました。これを不満とした旧幕府軍は、1868年1月、鳥羽・伏見(京都府南部)で新政府軍と戦争をおこしました。この戦いに敗れた慶喜は、江戸城を明けわたしました。

- (6)江戸幕府は1603年に開かれてから大政奉還を行った1867年まで260年余り続きました。



30 勝海舟

p.61 勝海舟 咸臨丸 江戸城無血開城

- ①坂本龍馬 ②海軍操練所 ③戊辰戦争
④西郷隆盛

p.62 ①(1)アペリー イ西郷隆盛

- (2)ア
(3)航海術や砲術
(4)咸臨丸
(5)(江戸城の)無血開城

考え方 咸臨丸でアメリカにわたり、アメリカの政治や人々の生活のようすを見てきた勝海舟は、話し合いによる政治を考えるようになり、徳川慶喜を助けました。

海舟は、坂本龍馬、西郷隆盛など、幕府の反対勢力の人達とも交流がありました。鳥羽・伏見の戦いで旧幕府軍が負けたのち、江戸を戦火から守りました。

新興出版社 × ちびむすドリル Special コラボ

ドリルの王様

楽しく取り組めるから長続きする！
各種検定試験、また学習指導要領にも対応！



ドリルの王様

or 教科書ぴったりにトレーニング

検索

ドリルの王様
公式サイトは
こちら



予習復習に便利な
教科書ぴったりに
トレーニング
公式サイトはこちら

